

東海北陸

Branch Report Vol.55

TOUKAI-HOKURIKU

2011・August



犬山城



法人 日本建築積算協会・東海北陸支部

THE BUILDING SURVEYORS INSTITUTE OF JAPAN from Toukai-hokuriku Branch
<http://bsi-th.052e.com/>

支部長あいさつ 東日本大震災に寄せて 支部長 小野 徹郎	1
平成23年度 東海北陸支部 通常総会の報告	2・3
平成22年度 収支決算書	4
平成23年度 収支予算書	5
平成23年度 事業計画	6・7
平成23・24年度 東海北陸支部役員・委員	8・9
支部長表彰をいただいて 二葉積算 西田 彰	10
東海北陸支部役員10年を迎えて 大成建設(株)名古屋支店建築部 大田 耕二	10
新役員紹介 愛知県立碧南工業高等学校 建築科 桑田 隆行	11
小栗建築事務所 小栗 裕重	11
大日本土木 本社積算グループ 加藤 一也	12
(株)青島設計 設計 鵜飼 洋行	12
(株)劔谷建築積算事務所 劔谷 将紀	13
(有)エスム積算 松岡 征紀	13
総務財務委員会だより 総務財務委員会 委員長 川辺 清次	14
会員委員会だより 会員委員会 委員長 佐野 洋治	14
資格制度委員会報告だより 資格制度委員会 委員長 劔谷 智彦	15
データベース委員会だより データベース委員会 委員長 植田 隆明	15
設計審査委員会だより 設計審査委員会 委員長 西田 彰	16
ホームページ委員会だより ホームページ委員会 委員長 劔谷 将紀	16
講習・教育委員会だより 藤井 正王	17
東海北陸支部における講習会の内容と対象者	18・19
女性スタッフ紹介 株式会社アイビーエス 積算部 清水 めぐみ	20
株式会社アイビーエス 積算部 馬塚 玲奈	20
JR東海沿線 四季の花 桑名 利男	21
インターシップ 名古屋市立工芸高等学校 建築システム科2年 高橋 巧	22
名古屋市立工芸高等学校 建築システム科2年 小澤 武士	22
建築コスト管理士の皆様へ・CPD単位取得について 資格制度委員会	23
岐阜部会だより (株)市川工務店 建設管理部 馬木 隆生	24
北陸部会だより (有)高島建築積算事務所 高島 義昭	24
平成23年度建設技術研修 講師 西田 彰	25
『支部報』原稿募集のお願い 広報委員会	25
株式会社 大成出版社	26
財団法人 建設物価調査会	27
協栄産業株式会社	28
編集後記	29
TOMOデータサービス株式会社	30

東日本大震災に寄せて



日本建築積算協会
東海・北陸支部
支部長 小野 徹郎

3月11日、東日本を襲ったマグニチュード9.0という巨大地震は、巨大津波を引き起こして東日本沿岸部に大きな爪痕を残した。その被害状況はこれまでの地震による被害状況からは想像できない世界を引き起こしている。先般、東日本大震災の状況を視る機会を得た。目の前に広がる惨状は確かに想像を遥かに超えるものであった。津波の力はあらゆるものを破壊尽くしていた。また福島では東京電力の原子力施設の被害によって多くの避難民を生んでおり、その放射能被害の拡大は先が読めない状況にある。

人類の歴史を振り返るとその最大の不幸は戦争である。戦争は人が起こし、人が止めることができるものであるにも拘らず人類にとって最大の悲劇を生む。想像を絶する破壊と殺戮をもたらす。まさに人間、国家の持つエゴと愚かしさがむき出しになる悲劇である。一方、自然災害はどうであろう。災害をもたらす自然現象は基本的に人が制御できるものではないが、災害そのものは人の営みのありようによって生起するレベルは異なる。従って災害を減らすことは出来る。被害をゼロにすることは、自然現象を正確に予測できず、さらにそこに経済原理が働いて人の営みがなされているとすれば不可能である。しかし被害のレベルを減らすことは可能である。いわゆる減災である。先般出された政府の災害復興委員会の提言もそこに主眼点を置いている。実は愛知では6年も前に学・官・民が連携して愛知地震災害軽減システム研究協議会（通称：減災協）を立ち上げ、そうした活動をしてきたので今更とは思いますが、減災の視点は重要である。現状から少しでも被害を減じ、その積み重ねが大きな被害を防ぐことになる。

一方、今度の震災で生じた原子力発電の状況はどう考えればいいのか。原発は人が作ったものである。それが自然現象の中であのような

状況になるとすれば原子力発電の事故は人為的災害と言っていい。本来人間が原子力そのものを制御できるものなのかどうかは、はなはだ疑問なところである。本来、核が暴走した時、安全に制御可能なものに復元できるのか私には分からないが、原爆の威力、被害の状況と後遺症のことを考えればそのリスクが想像を絶することは自ずと類推できるし、しなければならぬ。とても人間が安全に制御できるものではないのだろう。今度の原発事故に関して航空機事故や自動車事故を例に引いて、新しい技術がリスクを抱えているのは同じであり、排除するのは間違っているという乱暴な議論をする科学者がいることには驚くばかりである。システムの安全性とリスク拡大と収束の本質を見逃している。原子力発電という巨大システムは、様々な要素技術の集積である。非常に高度な技術要素からローテクと言って良いものまでが混在している。各要素の安全性に対する考え方も幅が有り、まさにピンキリである。巨大システムの安全性は、構成される各要素が並列に存在するのか、直列かによって大きく異なってくる。巨大システムでは全てを並列系で構成することは難しく、直列系が入ってくることは避けられない。直列系の巨大システムの安全性は、単純な一つの要素の安全性だけで決定されることになる。従ってハイテク部分だけ安全性を高めても意味は無く、むしろローテクの技術で形成される要素の安全性を高めると同時に並列系で構成しなければならぬ。

さてこうした被害は本当に想像を超えていたのだろうか。人は将来に対して負の予測も正の予測も行う。しかし多くは負の予測に対しては甘くなる傾向にある。また経済性からも負の予測は小さめに見積もるものである。今回の被害に対してもどこかそうした側面が見え隠れする。最悪の状況を想像しそれに対する手だてを考えるのは、いかなるレベルで災害を予測しその対策を立てたとしても基本的な部分とし必須である。

それにしても日本人は最悪の状況が起きた時なんと忍耐強く、最悪の状態に対する扱いはなんと下手なのだろう。これも日本人の宗教観、自然観と、平和な農耕、魚漁を生業とした民族性に関連しているのだろうか？

平成23年度 東海北陸支部通常総会の報告

1. 日 時 平成23年4月22日（金） 16:30～17:30
2. 会 場 ホテルプリシード名古屋 芙蓉の間 名古屋市中区栄4-6-1
3. 出席者 当日出席者34名 委任状190通 計224名
4. 司 会 東海北陸支部 佐野洋治副支部長

一、開会の辞～川辺清次副支部長より開会の辞 一、支部長挨拶（要旨）

本日は、平成23年度支部総会にご多忙中にも拘わらずご出席いただきありがとうございます。東日本大震災における福島原発の問題における専門家の役割と責任の重さを痛感しています。



支部長挨拶

積算協会もその専門家集団として生活ができ、その専門家として社会に対し意見をいい社会に貢献できることが必要だと考えます。今後の活動をその様な方向で皆さんと一緒に進めていきますので、会員の皆様のご支援をお願いし、総会に当たってのご挨拶とさせていただきます。

一、 来賓ご挨拶

本部より加納理事にご出席頂き、ご挨拶を頂戴致しました。



来賓挨拶

一、定足数の確認

出席会員数34名 有効委任状190名
計224名。

議決に必要な定足数は満たしており、総会が成立していますと事務局より報告。

一、議長選出

小野徹郎支部長を指名。

◇議事録署名人の指名

議長より議事録署名人として西田彰氏と松本利治氏のお二方を指名。

一、議案審議

■第1号議案 平成22年度事業報告承認の件
川辺総務・財務委員長から平成22年度事業報告の説明があり、審議に入る。
満場の拍手で第1号議案を承認した。

■第2号議案 平成22年度収支決算（案）及び監査報告承認の件

道家事務局長から平成22年度収支決算報告（案）の説明があり、審議に入る。

会計監事として杉浦讓治会計監事から収支はいずれも正確であると報告があった。
満場の拍手で第2号議案を承認した。



審議の様子

■第3号議案 平成23年度事業計画（案）に関する件

川辺総務・財務委員長から平成23年度事業計画（案）の説明があり、審議に入る。満場の拍手で第3号議案を承認した。

■第4号議案 平成23年度収支予算（案）に関する件

道家事務局長から平成23年度収支予算（案）の説明があり、審議に入る。満場の拍手で第4号議案を承認した。

■第5号議案 平成23・24年度支部役員選任（案）に関する件

川辺総務・財務委員長から平成23・24年度支部役員選任（案）の説明があり、審議に入る。

満場の拍手で第5号議案を承認した。

■第6号議案 東海北陸支部規程の改正（案）に関する件

川辺総務・財務委員長から東海北陸支部規程改正（案）の説明があり、審議に入る。

満場の拍手で第6号議案を承認した。

一、会員表彰

今年度は西田彰氏、大田耕二氏を表彰する。小野徹郎支部長より表彰状と記念品を贈呈。



会員表彰

一、平成23・24年度支部長・副支部長の選任

支部長に小野徹郎さん、副支部長に碓谷智彦さん、川辺清次さん、佐野洋治さん、藤井正王さんを選任した。

一、閉会の辞～碓谷副支部長より閉会の辞

総会終了後に懇親会を開催し、愛知県建築士事務所協会会長朝岡市郎様を始め多数の来賓のご列席をいただきました。



懇親会

来賓を代表して朝岡市郎様よりご挨拶を戴きました。



来賓挨拶

支部総会・懇親会会場で東日本大震災の義援金を募りました。

11,896円の義援金が集まりました。



平成22年度収支決算書

[収入の部] 自 平成22年4月 1日 (単位 円)
至 平成23年3月31日

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
会 費 収 入	200,000	140,000	▲ 60,000	第1種賛助会員
一般事業収入	3,745,000	4,105,990	360,990	
教育事業収入	2,545,000	1,973,000	▲ 572,000	講習会等
その他事業収入	1,200,000	2,132,990	932,990	設計審査・図書等
特別事業収入	0	383,125	383,125	
積算士補収入		383,125	383,125	士補登録・講師派遣
その他収入	522,000	329,035	▲ 192,965	
受 取 利 息	2,000	1,195	▲ 805	
雑 収 入	20,000	26,840	6,840	
支部報告収入	500,000	301,000	▲ 199,000	
支部運営金収入	9,906,400	10,171,720	265,320	本部からの交付金
一般事業運営金	9,500,000	9,500,000	0	
補助金収入	406,400	671,720	265,320	
当期収入合計 (A)	14,373,400	15,129,870	756,470	
前期繰越収支差額	3,305,494	3,305,494	0	
収入合計 (B)	17,678,894	18,435,364	756,470	

[支出の部] (単位 円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
一般事業費	6,473,400	5,747,000	▲ 726,400	
会誌発行費	500,000	375,996	▲ 124,004	支部報印刷費等
教育事業費	2,418,400	2,303,273	▲ 115,127	謝礼・交通費・会場費等
その他事業費	3,555,000	3,067,731	▲ 487,269	委員会費・設計審査委託費・図書費等
特別事業費	1,531,000	1,646,365	115,365	
試験費	576,000	432,956	▲ 143,044	積算士試験費
更新講習費	955,000	896,409	▲ 58,591	積算士更新講習費
建築積算士補	0	317,000	317,000	派遣講師謝礼等
特別事業費2	0	54,038	54,038	
試験費	0	54,038	54,038	コスト管理士試験費
管理費	6,369,000	5,511,126	▲ 857,874	
会議費	700,000	530,400	▲ 169,600	役員会交通費・会場費
消耗什器備品費	840,000	384,762	▲ 455,238	
賃借料	1,048,000	1,047,816	▲ 184	
外注費	1,740,000	1,740,000	0	事務委託費
その他経費	2,041,000	1,808,148	▲ 232,852	通信費・消耗品・交通費・会費・雑費等
当期支出計 (C)	14,373,400	12,958,529	▲ 1,414,871	
当期支出差額 (A-C)	0	2,171,341	2,171,341	
次期繰越収支差額 (B-C)	3,305,494	5,476,835	2,171,341	

平成23年度収支予算書

東海北陸支部

自 平成23年4月 1日

至 平成24年3月31日

(単位 円)

[収入の部]

科 目	今年度予算額	前年度決算額	前年度予算額	予算増減
会 費 収 入	140,000	140,000	200,000	▲ 60,000
一般事業収入	4,150,000	4,105,990	3,745,000	405,000
教育事業収入	2,000,000	1,973,000	2,545,000	▲ 545,000
其他事業収入	2,150,000	2,132,990	1,200,000	950,000
特別事業収入	426,000	383,125	0	426,000
積算士補収入	426,000	383,125	0	426,000
その他収入	422,000	329,035	522,000	▲ 100,000
受 取 利 息	2,000	1,195	2,000	0
雑 収 入	20,000	26,840	20,000	0
支部報広告収入	400,000	301,000	500,000	▲ 100,000
支部運営金収入	10,220,000	10,171,720	9,906,400	313,600
一般事業運営金	9,500,000	9,500,000	9,500,000	0
補助金収入	720,000	671,720	406,400	313,600
当期収入合計 (A)	15,358,000	15,129,870	14,373,400	984,600
前期繰越収支差額	5,476,835	3,305,494	3,305,494	2,171,341
収入合計 (B)	20,834,835	18,435,364	17,678,894	3,155,941

[支出の部]

(単位 円)

科 目	今年度予算額	前年度決算額	前年度予算額	予算増減
一般事業費	6,433,000	5,747,000	6,473,400	▲ 40,400
会誌発行費	440,000	375,996	500,000	▲ 60,000
教育事業費	1,937,000	2,303,273	2,418,400	▲ 481,400
其他事業費	4,056,000	3,067,731	3,555,000	501,000
特別事業費	2,458,000	1,646,365	1,531,000	927,000
試験費	536,000	432,956	576,000	▲ 40,000
更新講習費	1,422,000	896,409	955,000	467,000
積算士補	500,000	317,000	0	500,000
特別事業費2	46,000	54,038	0	46,000
試験費	46,000	54,038	0	46,000
管理費	6,421,000	5,511,126	6,369,000	52,000
会議費	700,000	530,400	700,000	0
消耗什器備品費	700,000	384,762	840,000	▲ 140,000
賃借料	1,048,000	1,047,816	1,048,000	0
外注費	2,040,000	1,740,000	1,740,000	300,000
其他経費	1,933,000	1,808,148	2,041,000	▲ 108,000
当期支出計 (C)	15,358,000	12,958,529	14,373,400	984,600
当期支出差 (A-C)	0	2,171,341	0	0
次期繰越収支差額 (B-C)	5,476,835	5,476,835	3,305,494	2,171,341

平成23年度 事業計画

(社)日本建築積算協会 東海北陸支部

I. 支部事業活動方針

建築界全体が困難な状況の中にあるこの時期こそ新しい時代に向けてコスト管理、積算の重要性を社会にアピールし、社会での相対的評価を高める活動と、自己研修を通して我々自身のポテンシャルの向上を目指した活動が重要である。この視点に立って具体的には以下の事項を支部運営の基本として活動を行う。

- 1) 従来の活動の継続
- 2) 積算関連資格の社会的認知と実質的な活用についての周辺整備
- 3) 自己研修に役立つ電子情報を利用した会員サービスの向上
- 4) 学校教育での建築積算教育の拡大、充実
- 5) 効率的な運営を目指した支部活動の見直し

積算資格の社会的認知を高めることは、積算資格に対する需要を引き起こし、建築積算士等の資格者の増加、積算協会会員の増加につながり、結果的に積算協会の基盤を固めることに繋がる。CPD登録を中心に電子情報の多角的な運用について会員に広報、支援するとともに会員相互の意見交換の場を拡大して会員サービスに努める。非会員積算士との交流も実施し会員増強を計る。支部活動及び運営に関しても、会員各位の理解を得ながら、これまでの慣習にとらわれず簡素化を図るとともに内容の充実を図る。

II. 支部委員会活動

◇総務・財務委員会

- ①協会に新しい魅力を創出し、会勢拡大に努める。
- ②各委員会との調整を図る。

- ③会計処理の整備、予算管理の推進、事務局業務の効率化とコスト削減を図る。

◇会員委員会

- ①会員・賛助会員への情報提供、サービスの寄与及び親睦を図る事業を行う。
- ②現場見学会、会員交流会を開催し、会員相互の親睦を図る。
- ③関係諸団体との技術交流を深め、技術力の向上を高めるための活動を行う。
- ④メールアドレス帳の整備を行い、会員への情報発信がメールできる仕組み作りを進める。
- ⑤会員・賛助会員の増加を図る。

◇広報委員会

- ①会員・賛助会員への情報提供誌として充実した支部報を継続して発行する。
- ②会員交流の場として、会員投稿ページを設ける。
- ③会員以外への広報活動の充実を図る。

◇ホームページ委員会

- ①支部ホームページの構成を検討し、親しみやすさを追求する。
タイムリーな内容掲載の実施。
- ②会員サービスの充実を図る。
最新情報掲載の喚起と受け入れ体制の整備を図る。

◇講習・教育委員会

- ①講習会事業
・各種研修会・講習会を積極的に実施する。

- ・建築積算士更新講習会へ講師を派遣する。
- ・地域部会が実施する積算研修会を支援する。
- ・地方の会社へ講師を派遣する出張講習会を開催する。
- ・「ここが知りたい積算勉強会」を継続的に開催する。

②教育事業

- ・建築積算士補の認定事業に伴う、大学・高専・工業高校・各種専門学校等において、当協会作成のテキストによる積算教育導入の広報と、講師派遣及び試験を行う。
- ・管内地方公共団体等から研修会の講師の派遣依頼要請に応えるために、講師の派遣を行う。
- ・認定校への情報提供と支援を行う。

◇資格制度委員会

- ①本部が実施する建築積算士試験・建築コスト管理士試験及び建築積算士更新講習事業を支援する。

- ・建築積算士試験
一次試験（学科）

平成23年10月23日（日）昭和ビル
二次試験（実技）

平成24年 1月22日（日）昭和ビル

- ・建築コスト管理士試験

平成23年10月23日（日）昭和ビル

- ・建築積算士更新講習会

名古屋会場

平成23年11月 5日（土）

愛知県産業労働センター

静岡会場

平成23年11月12日（土）

静岡県商工会議所会館

金沢会場

平成23年11月26日（土）

石川県金沢勤労者プラザ

- ②CPD登録の促進と支援行う。

◇設計審査委員会

設計審査システムの充実と設計審査制度の活用を広めるための活動をする。

◇データベース委員会

- ①データベースの情報整備及び拡充を図り利用しやすい環境の整備を行う。
- ②ここが知りたい積算勉強会のQ & Aを整備し会員へ公開する。
- ③物価版の利用方法についてさらに充実を図る。
- ④積算チェックのノウハウについてさらに充実を図る。
- ⑤将来解体時建設副産物（病院建築）のデータ化を進める。
- ⑥コストデータ表の利用促進を図る。

◇地域委員会

- ①地域別勉強会を講習委員会と連携して実施する。
- ②新規会員の勧誘を行い、地域部会の活性化を図る。



平成23・24年度東海北陸支部役員

平成23年7月15日現在

役職名	氏名	勤務先	職名
顧問	阿部 庄吉		
顧問	杉浦 讓治	(有) CMC 建築研究所	取締役
顧問	塚田 律夫	(社) 石川県建築士会	専務理事
支部長	小野 徹郎	椚山女学園大学 生活科学部 生活環境デザイン学科	教授 名古屋工業大学名誉教授
副支部長 資格制度委員会 データベース委員会 総務・財務委員会 静岡担当委員	剛谷 智彦	(株) 剛谷建築積算事務所	代表取締役
副総務・財務委員	川辺 清次	川辺建設(株)	代表取締役社長
副会員副委員長 総務・財務委員会 ホームページ委員会 資格制度委員	佐野 洋治	SANコスト企画	代表
副講習・教育委員 ホームページ委員会 総務・財務委員	藤井 正王	(株) みどり建築企画	代表取締役
総務・財務副委員長 データベース委員	佐藤 佳久	(有) 富士積算	代表取締役
資格制度委員会 データベース委員	林 進	(株) 林積算	代表取締役
広報副委員長	松本 利治	(株) 円建築積算	取締役
設計審査委員会 講習・教育委員 広報委員	西田 彰	(株) 二葉積算 名古屋支社	常務取締役
会員副委員長 講習・教育委員	木原 陽	(株) 日本設計中部支社	主任技師
講習・教育副委員長 会員委員会担当委員	宮西 繁	明峰積算事務所	代表
講習・教育副委員長	山田 治	(株) 竹中工務店 名古屋支店 見積部	部長
講習・教育副委員長 設計審査副委員長	和田 浩嗣	俵棟建築企画	取締役
データベース委員会 資格制度副委員長 講習・教育委員	植田 隆明	UDA建築事務所	代表
ホームページ委員長	剛谷 将紀	(株) 剛谷建築積算事務所	代表取締役
講習・教育委員 静岡担当委員	藤曲 充信	(株) アイピーエス	常務取締役
講習・教育委員会 ホームページ委員会 設計審査委員	伊藤 健藏	建築コストサポート	代表
講習・教育委員	勝野 徹	(株) フジタ 名古屋支店 積算部	部長
講習・教育委員 岐阜部会担当委員	生田 孝文	生田一級建築設計室	代表
データベース委員会 講習・教育委員	宇野 純也	U. S 設計室	代表
データベース委員	大田 耕二	大成建設(株) 名古屋支店 建築部	参与

役職名	氏名	勤務先	職名
講習・教育委員	渡邊 國雄	(株)伊藤建築設計事務所	取締役
講習・教育委員 三河担当委員	山本 喜久	神野建設(株) 建築事業部	副事業部長
広報委員 データベース委員	堀田 淳二	(株)中建設計 設計監理部	主幹
データベース委員	長谷川 脩	(株)浦野設計 技術営業部	次長
北陸部会担当委員	諏訪 淳	(株)三四五建築研究所 富山事務所	取締役 地域計画担当
広報委員 北陸部会担当委員	松平 久芳	(株)松尾工務店 設計積算部	取締役 部長
静岡担当委員	三輪 健二	木内建設(株) 管理部積算課	課長
ホームページ副委員長 岐阜部会担当委員	松岡 征紀	(有)エスム積算	代表取締役
講習・教育委員	小栗 裕重	小栗建築事務所	所長
講習・教育委員	鶴飼 洋行	(株)青島設計 設計室	主査
データベース委員	加藤 一也	大日本土木(株) 建築本部 建築部	積算課長
講習・教育委員	桑田 隆行	愛知県立碧南工業高等学校建築科	教諭
会計監事 (会員委員)	松岡 重幸	(有)エスム積算	会長
会計監事	笠谷 正	(有)富山積算センター	代表取締役

平成23・24年度東海北陸支部委員

平成23年7月15日現在

役職名	氏名	勤務先	職名
総務・財務委員会委員	水谷 友彦	若狭工業(株)	代表取締役
広報委員会委員	桑名利男	(株)日本設計 中部支社	
ホームページ委員会委員	小中 利文	(有)富士積算	
ホームページ委員会委員	西村 洋司	(株)アイピーエス 積算部	
ホームページ委員会委員	知野見 武		
データベース委員会委員	石脇 誠	(株)アイピーエス 積算部	係長
データベース委員会委員	神田 拓勇	大和ハウス工業(株)名古屋支社	
広報委員会委員	長山 充裕	(株)アイピーエス 積算部	課長
講習・教育委員会委員	伊藤 和洋	(株)円建築積算	課長
講習・教育委員会委員 設計審査委員会委員	西部 明宏	(株)二葉積算 名古屋支社	主任
資格制度委員会委員	位田 勝彦	(株)中野積算 名古屋支社	支社長
資格制度委員会委員	金岡 文徳	(株)円建築積算	課長
資格制度委員会委員	吉開 慎也	(株)アイピーエス 積算部	係長

支部長表彰をいただいて

(株)二葉積算
西田 彰

社会に出て40年この方、表彰状なるものにはいっさい縁の無かった私ですが、この度、支部長より10年の表彰をしていただくことになりました。ありがとうございます。副賞の「丸善製の眼鏡立」は、家宝として一生大事にとっておきます。(少し嘘、大切にに使わせていただいております)

いつから積算協会に出入りするようになったのか私自身もよく分かりませんが、支部報によれば、平成5年に「積算教育委員会」なるところに所属しておりました。何をしたのかよく覚えていません。以後、広報誌に雑記事を投稿したりして参りましたが、本格的に活動させていただいたのが、平成13年、役員にさせていただいてからです。

この年、設計審査委員会が発足し、当初より委員長として現在に至り、同時に広報委員(後日、委員長を経る)となり現在に至ります。また、講習・教育委員会においては「愛知県建設技術研修」の講師を務めさせていただくことになりました。どれも10年間続いております。あれこれと楽しくやってきました。

昔は、「若くして良くやる」と言われたこともありましたが、そろそろ「いい年をしてよくやる」と言われそうなので、これからは、後輩の育成にも力を注ごうかと思っています。微力ながら、まだまだ協会でお役に立てることがあると思いますので、今後ともよろしく願いいたします。



東海北陸支部役員10年を迎えて

大成建設(株)名古屋支店建築部
大田 耕二

私と積算との関わりは、入社7年目(昭和54年)での転勤時に今までの作業所勤務から名古屋支店積算室の配属となった時から32年間継続しています。業務としては構造担当者となり、大型電算機を使っての数量拾いで記入ミス、パンチミスを探すためにアウトプットの構造比率データを隔々までチェックしていると自然に構想比率の特性やバランスが感覚的に身についてきました。

平成3年頃からパソコンを拾いと内訳システムが開発され業務的には大きな転換期となりました。それから概算担当者となり、構造比率による坪単価グラフ、杭種別による支持耐力当り単価比較表、山留標準単価表、構工法別単価比較表等自分なりのデータに基づく資料を作成し概算に対応しましたがこの頃が一番充実していたと思います。その後、平成10年に室長、平成14年に部長、平成21年に参与となり現在に至っています。

これまでの積算協会の活動を通じて「積算とは何か」と問われれば「共通的な適正価格の算出」と答えます。「適正単価」とは「専門工事業者が適正な利益のある単価」であるが、実際には各社の最終予想価格での入札となり非常に厳しく、建設業界全体に余裕がなくなっているのが現状です。この現状を見据えて、今後のコスト管理士の役割はどのように?コスト管理士の権限はどのように?適正価格とは?まだ課題は山積みです。



新 役 員 紹 介



愛知県立
碧南工業高等学校
建築科 桑田 隆行

昭和48年度から昭和50年度までの2年間、二葉積算の名古屋支所でお世話になりました。それが建築積算との出会いです。その後、愛知県の高校採用試験に合格し、昭和51年度より半田工業高校の建築科で26年間、碧南工業高校の建築科に9年間勤めて、昨年度定年退職をしました。そして、今年度は再任用として、碧南工業高校に勤めています。（再任用は5年間の予定です）

2年間二葉積算に勤めていたことから、35年の教員生活では一貫して、科目「建築施工」の中で建築積算を教えてきました。

積算協会へは、教員となると同時に入会し、工業高校建築科の教員として、何かできるものはないかと考えてきましたが、幸い積算士補の資格制度ができ、働ける場ができたと思っています。

ここしばらくは支部委員として、教育委員会へ参加させていただいていましたが、支部役員となったこれからも、自分の持てる力を活かせる場として教育委員会等で、頑張っていきたいと思っています。

積算士補の資格制度の普及を兼ねて、工業高校、専修学校、大学へと積算の面白さ、大切さを伝えていくべきだと思っています。特に指導的な立場にある、大学への啓蒙は最も重要なものだと思っています。そのために今までの自分の経験を生かし、自分の持てる力を役立てることができれば幸いです。



技術の伝承と変革

小栗建築事務所
小栗 裕重

本年度より支部役員となりました。これまで二十余年講習委員として積算協会に所属してまいりました。この間、世の中の経済活動・物の価値・人の思考が変化し社会からの要望も高品質・低価格、即応性等を問われる時代となりました。人が生活していく上で「衣食住」が大きな要素であると云われてきました。しかし、時代の変化により「衣食住」の要素も多岐となり、長い不況のトンネルに突入し出口の光を模索している中、東日本大震災が発生し増々出口が見えなくなりました。

今日の「衣食住」は「医職頭」に置き替えられるのではないのでしょうか。医とは医療機関・医者・医療費の不足、職とは失業者・フリーター・ニート・の増大、頭とは指示を受けないと行動できない者の増大と難問が直面しています。この様に我々の仕事には一見関わりのない課題のように思えますが、今回の大震災のように多くの住民・企業・インフラに被害をもたらし、福島原発においては未だ終息の目途もたえず電力不足による産業・経済の渋滞が続こうとしています。国民の多くがこの震災を契機に、これまでの生活の在り方・常識・慣習等を見直そうとしているのではないのでしょうか。

このような社会状況のなか、建築積算部門においても「頭」を使いこれまでの経験・知識を生かしながら、且つそれに捉われることなく次世代に積算技術を伝承し新分野・新工法等に挑戦する時がきたと思われれます。今回の大震災においても復興計画の具現化が進み建築積算業務に携わる我々としても力を発揮できることを願い微力ではありますが協力したいと思っています。

新 役 員 紹 介

大日本土木 本社積算グループ

加藤 一也

(株)青島設計

設計 鵜飼 洋行

4年前の2008年より工事部から部署異動にて積算部に配属されました。

当時は積算部でしたが、昨年より建築部積算グループとなりました。

私の積算とは、現場が終わって次の現場に配属される間の手伝いとか、自分の施工現場の変更、VE、CDの為の作業が主でした。

で、いざ見積りを始めると建築積算数量基準・同解説（建設大臣官房官庁営繕部監修）と言う書籍が有りまして、やはり何にでも基準は有る物だと感じました。（今は建設大臣ではなく国土交通省大臣ですが）

また、書籍も建築コスト管理とか執務関連図書の数にも驚きました。

積算ソフトも色々有り、時代は変化しIT化していると感じました。

今回はDB（データベース）の役割を頂き積算の根本にメスを入れる？感じでワクワク・ドキドキしています。

積算を知らない人たち、関心を持たない人にもこの経験、知識を伝える事によって、興味を持つきっかけに成れればと思っています。

与えられた立場、状況で皆様のお役に立つ資料が出来上がればと考えていますので、よろしくをお願いします。



「何とかならないものかなー！」

設計事務所積算担当の悩みは、いろいろありますが、金額を積上げた結果発覚する予算オーバーとそれに伴う減額設計変更・調整が1番つらい。

納期まで時間は無いし、積算事務所に迷惑を掛けるし、設計者のコスト意識の無さも腹立たしいですが、この不毛な作業に毎回振り回される自分の能力の無さに呆れかえる。冒頭の文句がすっかり口癖になってしまいました。

この煩わしさはなんとかならないか。

他の設計事務所はどうこの問題に向き合っているのか。

「コスト管理」を建築設計にどう生かしたら良いのかを広く知りたい。

そんな動機で積算協会に参加させて頂いていましたが、どういう訳かそんな私が役員を仰せ付ける事となってしまいました。

役員が務まるような器なのかちょっと不安ですし、まだまだ知識も未熟ではありますが、今後も経験豊富な方々と接する機会を大切に、意見交換、情報交換の中で積算の視点から設計にどう生かしていけるか、又、設計の立場から積算協会に対しどう貢献できるかを、出来る限り前向きに考えていきたいと思っています。

今後とも宜しくお願いいたします。



新 役 員 紹 介

(株) 劔谷建築積算事務所

劔谷 将紀

この度、東海北陸支部役員を勤めさせていただくことになりました。どうぞよろしくお願い致します。

平成13年に東海北陸支部ホームページが開設されてからのメンバーで、10年間支部にはお世話になっております。それ以前に弊社会長が副支部長という事もあり、東海北陸支部の役員さんにはとてもかわいがって頂いております。また、「ホームページ委員会だより」でも、何度か支部報には載せていただいております。大変お世話になってます。(今号もです)

社業の方は、父親が創業した会社を継ぎ、社員と共に会社の成長・発展の為、尽力しておりますが、経験も浅く不安な点も多いため、東海北陸支部の先輩方と多く関わることで、人間的にも成長できたらと思います。

役員になるにはまだ若く(といっても40歳ですが)まだ早いのでは…とと思っていましたが、いづれは東海北陸支部の為になにかお手伝いすることが出来たらと思っていましたので、一生懸命頑張りたいと思いますし、多くの仲間が出来たらと思っています。(特に同年代の仲間を作っていければと思います)

まだまだ若輩者で、分からないことだらけではありますが、今後の東海北陸支部発展の為に多くのことを吸収し活かしていきたいと思いますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



(有) エスム積算

松岡 征紀

この度、東海北陸支部の役員に就任させて頂く事となりました、(有)エスム積算の松岡征紀です。

昨年(2010年)から積算に携わる様になったばかりです。まだまだ右も左も分からぬ状態であるにもかかわらず、今回のお話を頂き、役員になってよいものなのかと考えました。しかし、積算協会の活動に積極的に参加する事で、積算の実状がよりよく分かり、自分自身の研鑽にも繋がると思い、微力ながらも役員として協会活動に携わっていかうと考えました。

私自身、一昨年(2009年)まで、印刷会社の営業マンでありましたので、「建築積算」の知識や経験は全くのゼロ…。知る事・聞く事・読む事など、全てが未知の経験です。最初は全く知らない事を知っていくというのは、なかなか楽しいなあというくらいに簡単に考えていました。しかし当然の事ながら、すぐに壁にぶち当たりました。物事を習得する時によく起こる「何が分からないのかが、分からない!」という事でした。数字自体は嫌いではありませんので、やはり多くの図面と向き合い、知識や経験を蓄えていく以外に会得をしていく近道はなさそうです。これからは毎日が精進です。

日々の業務と協会活動とを満遍なくこなす事は至難の業と思いますが、可能な限りチャレンジしていきたいと思っております。未熟者ではありますが、何卒ご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。



総務財務委員会だより

総務財務委員会

委員長 川辺 清次

今年度の本部の総務財務委員会としての活動は前年度に本会は「公益社団法人を目指す」という方針に倣って、その手続の準備に入る。定款の変更、支部規定との整合性、申請書、会計処理の統一性等々である。年末に申請するとなると事前審査の準備等々、ハードスケジュールになるのではないかと考えています。今年度の第1回は延び延びになったが7月26日に開催される。又、折をみて報告させていただきます。

支部にとっては、昨年度末より「ペリカン大作戦」と銘うった会員増強作戦である。建築コスト管理士、建築積算士ガイドブックを持参し、各企業、支店のトップレベルの人達と直接会い、資格の認識と徹底をはかり、企業より資格獲得と優遇の奨励である。それがひいては会員増強に継がる。「公益法人を目指す」という事は今ある保有財産を思い切って減らし、理想の形にするためには会費半減をした上で会員増強をするのである。

増やさなければ数年後には財政破綻しかねない状態である。まさに積算協会の浮沈をかけた作戦である。我が支部でも130社位を目標に役員が手分けして事に当たる予定である。

長引く建築不況で、他の協会でも会員増強は緊急課題である。魅力ある協会作りによる退会防止も必要であるが、我が協会は50才以上の会員が特に非常に多数を占め、定年、再雇用定年等による退会もある程度計算に入れないといけな。特に若い人、女性の入会を望むところである。そして協会が活性化する事によってより一層魅力のある協会になる様、会員一同頑張りましょう。

会員委員会だより

会員委員会

委員長 佐野 洋治

東海北陸支部も、設立以来30年を経過し、次の10年に向け新たなスタートとなりました。

会費負担も、昨年までの半額となり、入会し易くなりました。

今までは、会員も、建築コスト関連・建築積算見積関連・設計事務所・積算事務所・建設会社等の関係者が大半を占めていました。

今は、建設工事発注者・建物管理者サイドのあらゆる法人・個人の建築協会活動の関係者人口が増加しました。

この時期に、協会活動の幅広い関係者へのアピールをしていきたい。

建築積算士・建築コスト管理士・建築積算士補の資格認定活動も、だんだんと認知度が高まり、協会活動の内容説明とともに幅広い分野に実施していきたい。

その一環として、本年の会員交流会を名古屋・静岡・金沢で実施し、一般会員と役員、また建築積算士を交えて、幅広い意見交換を行い、協会の広報・情報サービス・協会周辺や建築環境の変化を連絡するように努めます。

会費は無料、参加資格は、積算協会に興味があればだれでもOKです。

時間は、17時30分より、20時

会場は玄関で判りやすくします。開催日は、

名古屋会場 平成23年11月5日(土)

愛知県産業労働センター

静岡会場 平成23年11月12日(土)

静岡県商工会議所会館

金沢会場 平成23年11月26日(土)

石川県金沢勤労者プラザ

建築積算士更新講習の後に予定しております。

最後に、今年度より会員委員会の委員長を、前任の佐藤さんより引き継ぎ活動する事となりました。なにとぞよろしくお願ひします。

資格制度委員会報告だより

資格制度委員会
委員長 剛谷 智彦

今年度より、三期六年を務めた講習委員会から資格制度委員会に移ってきました。

当委員会の役割は、継続能力開発（CPD）制度と、建築コスト管理士及び建築積算士の試験と更新講習が主な活動となります。

CPD制度については、前年度から改定案が検討され、来年度から新制度に移行する予定です。

私にとって幸いにも改定案は概ね出来上がっていますので、今年度は細部の詰めの作業が残るのみで、一番大変な時に本部資格制度委員を務めて頂きました佐野洋治氏にはこの場をお借りしてお礼申し上げます。

また、CPD制度に未登録の方は早急に登録をお願い致します。登録に際し解からない点があれば支部に連絡して下さい。担当委員が指導いたします。

次に、「建築コスト管理士」試験が10月23日（日）で、申込は8月末日となっています。出題範囲は、「建築コスト管理士ガイドブック」から学科試験60問、短文記述試験5問の内容です。受験資格のある方は是非挑戦して下さい。

「建築積算士」の一次試験は「建築コスト管理士」と同日で、「建築積算士ガイドブック」から50問（4肢択一）が出題されます。

二次試験は、平成24年1月22日（日）に行われ、一次試験に合格した方及び一次試験を免除された方が受験資格者となります。

建築積算士更新講習は、今年度が切り替え年度となり、新テキストの内容も「建築積算士」及び「建築コスト管理士」のガイドブックより抜粋したテキストとなりました。

eラーニングでの受講も可能ですから、今年度の更新講習対象の方は申込をお忘れなく！

データベース委員会だより

データベース委員会
委員長 植田 隆明

東日本大震災発生から5か月が経過しようとしています。復旧復興への対応が急務となっていますがその進捗状況は思わしくありません。そんな環境の中、平成23年度の活動がスタートしました。データベース委員会は若干の委員変動がありましたが、より充実した活動を展開すべくメンバー一同努力してまいります。

■今年度の主な活動目標は以下のとおりです。

1. データベースの情報整備及び拡充を図り利用しやすい環境の整備を行う。
2. ここが知りたい積算勉強会のQ&Aを整備し会員へ公開する。（平成22年度開催分）
3. 物価版の利用方法についてさらに充実を図る。
4. 積算チェックのノウハウについてさらに充実を図る。
5. 将来解体時建設副産物（病院建築）のデータ化を進める。
6. コストデータ表の利用促進を図る。

※今年度のデータベース委員は設計事務所4名、施工会社3名、積算事務所4名、ハウジング会社1名の構成となっています。建築生産業務にかかわる各専門分野のメンバーが集結し、それぞれの立場から貴重な意見や考え方が反映できる組織となっています。

会員の皆様からも様々なご意見とご要望を頂き充実したデータベース構築を目指したいと考えています。会員皆様の積極的なご意見ご要望をおまちしております。

データベースのホームページアドレス

<http://bsi-th.052e.com/database/database.html>

設計審査委員会だより

設計審査委員会

委員長 西田 彰

今年は、既に岐阜県から設計審査依頼があり、6月の後半に1件の最終審査を終えました。今年度は、まだ1～2件はあるかと思われまますので、審査に参加していただきますよう、よろしくお願いいたします。

先日、某市の建設部の部長にお会いしたところ「最近、積算の出来が悪くて困っている。」というお話を伺いました。以前にも、このようなお話があったことをVol.52号で書かせていただきましたが、耳の痛い話です。具体的に何がどのように悪いのかは話されませんでした。察するに我々積算技術者としての技量の無さ、サービス業としての対応のまずさがあったということです。

「よその積算事務所で拾ってもらったものですが、役所の担当者から拾い直して来いと言われました。直してもらえますか？」との電話が入ることがありますが、お受けするには問題あります。

- ① 拾い出しのソフトが違うので修正できない。
- ② 修正するより初めから拾ったほうが的確である。しかも時間とコストがかかる。

その後、設計事務所の方からお話を伺ったことがあります。「自分達の設計の仕事が止まって大変だった。何の為に安い積算事務所を使ったのかわからない。安物買いの銭失い。どえりゃー目にあった。」とのことでした。以前にも書きましたが、我々の地位向上・積算料金アップの為に「(積算料金)安かろう(商品)悪かろう」の商品から脱することが必要と思います。

話は某市のお話に戻りますが、建設部長曰く「設計発注の際、仕様書に設計審査を受けるような一言を設けたい」とのご希望でした。今年は、大型物件がいくつかあるそうです。設計審査委員会としては、これらの設計審査が実現するよう楽しみにしています。

ホームページ委員会だより

ホームページ委員会

委員長 剛谷 将紀

今期よりホームページ委員会の委員長という大役を仰せつかり、とっても不安なのですがやりがいを持って取り組んでいきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

いままでは委員として前委員長の指示の元、作業のみを行なっておりましたが、委員長となった今では、全体を把握した上で指示+作業を行なう必要があります。まだまだ出来ていないことばかりでプレッシャーも大きいですが、前委員長・委員の皆さんに支えていただきながら「委員長」として成長していきたいと思っております。

ホームページもそろそろ新しくしていきたいと思っておりますので、今期はその準備期間として情報収集・技術向上に努めていきます。

具体的には現在討議中ではありますが、デザインを一新して、誰もが観やすく、そして建築積算に関するヒントが得られるコンテンツがより多く作れるようにしたいと思っております。

また、ホームページは一方向的な情報発信なので、観ていただいている方のご意見を収集することが出来ていません。(掲示板等は迷惑メール・ウイルス等のトラブルの原因となってしまうので控えさせております)

ホームページを更に良くする為に、ご意見等がありましたら、事務局を通じてホームページ委員会へご連絡いただけましたら、委員会にて討議してより良いホームページへと成長させていきたいと思っておりますので、今後ともご協力お願い致します。



講習・教育委員会だより

講習・教育委員長

藤井 正王

平成 23 年度から講習委員会と教育委員会をまとめ総勢 19 名で講習・教育委員会としてスタートしました。これにより講習会の講師や学校への派遣講師の対象者を増やす事が出来るようになりました。また委員会の形態を少し変え、委員会の前に委員長と副委員長など 5 名で事前の打合せ会を開き、方向性を決めて具体的に提案する事で、委員会では講習会や学校教育のあるべき姿を話し合う機会ができるようになりました。これからも会員の皆様が参加しやすい講習会を考えていきたいと思えます。

(教育部会)

今年度の学校教育は昨年とほぼ同じで、愛知産業大学・名古屋造形大学・匠アカデミー能力開発短期大学・東海工業専門学校・愛知県立碧南工業高校・静岡県立浜松工業高校・名古屋市立工芸高校の 7 校が認定校として実施します。ちなみに全国では 35 校となっております。

認定校の条件はご存知でしょうか。積算協会として三つの規定を設けております。①積算協会作成のテキストを使用する ②下記の授業形態を取る③派遣講師の報酬及び交通費を学校の規定により支払う

1. 学校の担当講師による講座
教材の提供、担当講師への講習指導や助言
2. 派遣講師による講座
 - ①正規授業
半年または 1 ケ年を通して授業を担当
 - ②特別講座
短期集中講座（臨時講座）
3. 学校の担当講師と当協会派遣講師のコラボレーションによる講座
数量算出分野など一部を当協会派遣講師が分担

会員の皆様の母校にも是非積算協会による、積算教育を提案してみてもはどうでしょうか。

(講習部会)

東海北陸支部としての講習会メニューの見直しを行い、次ページに各講習会の対象者と講習内容と講習時間を一覧表としましたので参考にしてください。その中で追加した講習会があります。

<積算教室>

本来の拾いの実技講習会が無かった事から、RC 造 2 階建ての図面から仮設・躯体・仕上・集計・内訳書・値入まで実際に全てを計算する講習会を企画しました。9 月から始め毎月 1 回×7 回の講習会を行い、積算全体を把握するため、積算の最終である工事費算出まで行う講習会です。

<ガイドブック講習会>

今年度から建築積算士及びコスト管理士の試験方法と出題範囲が大きく変わりました。詳しくは本部 HP を参照してください。基本的には各ガイドブックの中から出題されることになり、そのガイドブックの講習会を企画しました。一次試験はもとより、二次試験もこのガイドブックから出題され、受験される方にとっては、必修の講習会になりますので是非参加して欲しいですし、会員の方の廻りには、これから建築積算士を受験する方もいらっしゃると思いますので、この情報を是非知らせて頂けるとありがたいです。

東海北陸支部における講習会の内容と対象者

初級の初級

対象者

これから積算を始める方（工業高校建築科程度）
積算はやった事があるが、改めて基本的な話を聞きたい方

講習内容

積算とはなんだろう（積算の目的・発注者と受注者の関係
工事費の構成・積算業務の流れ等・・・基本のき）
建築数量積算基準の目的と総則（目的から分かる基準の本質）

講習時間

1日（AM10時～PM4時 5時間）

初級の中級

対象者

これから積算を始める方（工業高校建築科程度）
積算はやった事があるが、改めて基本的な話を聞きたい方

講習内容

建築数量積算基準の目的を理解しながらルールを覚える
いきなり拾うのではなく、図面の見方から単純な積算を理解する
土工・躯体・仕上の積算の内法寸法などの基本を知る

講習時間

2日（AM10時～PM4時 5時間）

積算教室

対象者

積算を全体的に把握し、実際に拾いまとめる様にしたい方

講習内容

RC造2階建ての図面を基に仮設～雑まで全てを実際に拾い出し
集計から内訳作成し、値入を行い総工事費を算出する積算の最終
成果物とその流れを知る

講習時間

9月～3月 毎月第3水曜日（AM10時～PM5時 6時間×7回）
躯体3日 仕上2日 集計・内訳1日 値入1日

資格試験

対象者

建築積算士及びコスト管理士を受験される方

講習内容

ガイドブックによる講習会（実技の講習会はJ A Q Sにて開催）

講習時間

1日（AM10時～PM5時 6時間）

専門講習会

講習内容

仮設	パソコン	鉄骨	RIBC	内訳	値入
改修	耐震	積算技術	設備	メーカー	その他

※現在開催していない講習会があります

コスト講習会

講習内容

概算	PM	CM	FM	LCC	VE
----	----	----	----	-----	----

※現在開催していない講習会があります

建築積算士更新講習会のご案内

1. 対象者
 - ①・録の有効期限平成24年3月31日の方
 - ・平成20年度更新講習修了者
 - ・平成20年度は都合により更新講習を終了しなかった方で、平成21年度更新講習を終了した方
 - ・平成20年度建築積算資格者試験に合格して登録を受け、建築積算資格者となった方
 - ②平成22年度の更新講習対象者で平成22年度は都合により更新講習を終了しなかった方
2. 更新講習会の時期と場所
 - ①名古屋会場
 - ・日時 平成23年11月 5日(土)
13時～17時
 - ・場所 愛知県産業労働センター
名古屋市中村区名駅四丁目4-38
 - ②静岡会場
 - ・日時 平成23年11月12日(土)
13時～17時
 - ・場所 静岡県商工会議所会館
静岡市葵区黒金町20-8
 - ③金沢会場
 - ・日時 平成23年11月26日(土)
13時～17時
 - ・場所 石川県金沢勤労者プラザ
金沢市北安江3-2-20
 - ④E-ラーニングによる受講
 - ・受講期間 平成23年10月1日より会場受講の最終日から1週間程度まで
3. 受講申込みの案内時期
平成23年8月初旬
4. 手数料 21,000円

建築積算士試験のご案内

1. 受験資格
 - 【一次試験(学科)】
平成23年4月1日現在満17歳以上の方
 - 【二次試験(実技)】
一次試験の合格者
一次試験免除対象者
(詳細はホームページをご覧ください)

2. 試験受験申込受付期間
 - 一次試験からの受験者
平成23年6月21日(火)～8月24日(水)
 - 二次試験からの受験者
平成23年9月1日(木)～11月11日(金)
3. 受験手数料 26,250円(消費税含む)
4. 試験会場 名古屋:昭和ビル 9階
名古屋市中区栄4-3-26
5. 試験日
 - 一次試験(学科) 平成23年10月23日(日)
12:50～15:50
 - 二次試験(実技) 平成24年 1月22日(日)
11:00～17:40
6. 受験の申込み方法
協会本部のホームページから申込み

建築コスト管理士試験のご案内

1. 受験資格
「建築関連業務」「コスト関連業務」「責任ある業務」について、それぞれの実務経験年数が必要です。
(詳細はホームページをご覧ください)
2. 試験受験申込受付期間
平成23年6月21日(火)～8月31日(水)
3. 受験手数料 28,350円(消費税含む)
4. 試験会場 名古屋:昭和ビル 9階
名古屋市中区栄4-3-26
5. 試験日
平成23年10月23日(日)
学科試験 12:50～15:20
短文記述試験 15:40～17:40
- ・受験の申込み方法
協会本部のホームページから申込み

詳細はホームページに掲載
<http://www.bsij.or.jp/>

平成22年度の試験結果

(東海北陸支部)

1. 建築積算士試験

①一次試験	受験	16名		合格	10名
②二次試験	受験	61名		合格	36名
2. コスト管理士試験

	受験	2名		合格	1名
--	----	----	--	----	----

女性スタッフ紹介

1年間積算に携わって

株式会社アイピーエス 積算部
清水 めぐみ

私は大学で土木を専攻していましたが、たくさんの図面と関わる積算の仕事に興味を持ちました。土木から建築へということでしたが、大学の勉強内容は社会に出ればさほど関係はなく、実際文系出身から積算をしている人もいるというお話も伺っていたので、あまり心配はしていませんでした。ただその分聞き慣れない言葉が常に行き交うので、知っていて当たり前前の状態に近づけるようにしなければと思います。

入社2年目でどこまで知識を得ることができ、それを的確な場所で使えているかという点はまだまだほんの一部分を見ただけで、うまく活用できていない部分が多くあると思います。

積算業務は期間が短いので物件の周期は早く、毎回新たな勉強をすることができます。図面に記載のある項目はもちろんですが、記載のない項目まで読み取る力も重要となるので、書類の作り方や物件ごとにまとめたノートは大事な資料となっています。

今では小さな物件については内装のまとめ役を任されるようになり、始めは不安ながらも無事に提出できたときは達成感と安心感を受けます。

定期的に行われる現場見学では、自分が担当した物件を目の前にすると積算時を思い出すことができ、今後1物件担当する度にこのような体験が出来る可能性が1つ増えていくのだと感じました。

今は積算士の資格取得のためにも、日々の仕事の中での勉強と、それに付随してくるものの関係を理解していきたいです。

1年を振り返って

株式会社アイピーエス 積算部
馬塚 玲奈

積算の仕事始めて約1年が経ちました。入社する前、高校の授業で少し勉強はしていましたが、建物の面積を計算する、ということ以外は実際拾いをしたりすることはほとんどなかった為、どんなことをするのか、分かっていませんでした。

入社して実際積算をするようになり、積算とは何をするものなのかは仕事をしていて分かるようになりました。さらに、先輩方にいろいろと教えていただき、建物を建てていく中で積算はどのように必要とされるのか、積算以外の建築の知識も多く知ることができました。積算の業務をしていく中でも建築の知識が必要な場面は多々あるので、今後もいろいろなことを積極的に学んでいきたいです。まだ知識不足な点もたくさんありますが、この仕事を始める前より積算のことを理解できてきたと思いますし、好きになりました。

失敗することばかりで先輩や上司に迷惑をかけてしまい、自分の不甲斐なさに落ち込むこともあります。「まだ1年しか経っていない」と言われたりもしますが、この1年が本当に早く感じられたので、あっという間にまた1年経ってしまうのではないかと焦る気持ちがあります。1年経った今でも知らないことが多く、大変だと感じることもあります。しかし、分からなかったことが分かるようになったり、知らなかったことを覚えることができたり、日々成長していると感じられるこの仕事にやりがいを感じています。まだまだ先のことになるとは思いますが、少しでも早く、しかし焦らず、一人前と呼べる積算士になりたいです。

JR 東海沿線 四季の花

桑名 利男

2011年の6月、東海道線の車内吊下げ広告「形原温泉アジサイまつり」を見つけ、家族と出かけました。場所は、愛知県蒲郡市でアジサイの里に植栽された5万株のアジサイが咲き乱れておるといふ謳い文句でした。私、アジサイについての知識はほとんど無く、土壌により花の色が多少違う程度の認識で、五万株のイメージがわからず「百聞は一見に如かず」の思いで出かけました。

アジサイは、変幻の花・鎮魂の花であると言う人もおり、お寺によく植えられているのを記憶しておりました。夜明けがたや、夕暮れのひと時に見るのが最も美しいと言われる所以は、地中から吸い上げた多量の水分や露を含んだ葉と花の色の対比です。また、アジサイの鑑賞方法として、青や紫は離れて見るとひとときわ引き立って見えます。これは、青の地にも赤色が混ざったりして、色のボケ・ムラが全体に滲んで言いようのない美しい青か、紫を現出させるからです。

昔から一般にアジサイと呼ばれてきたものは、東伊豆が発生地と考えられる「ガクアジサイ」、その変種として出た「テマリアジサイ」が代表的なものです。ガクアジサイは、中央に小さな両性化の集団があり、周辺を大きな飾り花が取囲んだ平たいガクブチ型をしており、中央の両性花は種子となる。花色はいろいろ有り土壌の酸性度によって変化する。この中から、全部が飾り花となったマリ状の花序のものがテマリアジサイです。

五万株の感想は、カラー写真でお見せできなくて残念で、又 皆さん良い所がありましたら是非お教え願います。



ロイヤルブルー



ダンスパーティー

インターンシップ

名古屋市立工芸高等学校

建築システム科 2年 高橋 巧

私は、就業体験で株式会社剛谷建築積算事務所に行き、初めて積算という仕事を見たり触れたりして、たくさんの事を学びました。

私は、就業体験をするまでは積算とは、図面を見て電卓で材料費など建築物にかかわる費用を計算していただけだと思っていました。でも実際はコンピューターを使い必要な材料の数量や箇所を求めて、工事予定費を算出することでした。

就業体験一日目は、積算に関する本を読み積算をおおまかに知る事でした。

二日目には、積算の説明や躯体部分の積算の練習など色々な事を教えていただきました。

三日目には、二日目にやった積算の練習の続きやまとめなどを行いました。

初めは凄く緊張していたけど時間が過ぎるうちに緊張も無くなっていきました。積算のことをよく分からなかったけど、教えてもらって行く中で積算について理解を深める事ができました。

この三日間は一日一日がすごく時間が早く過ぎていくような感覚でした。それもこの会社の人が見るく、親切に接して下さったおかげだと思います。だからやっぱり、コミュニケーションをとることが大切だと思いました。それと、めりはりをつけて作業することや責任を持って仕事をするということが大切だなあと会社の方々を見て思いました。

本当にこの三日間はいい体験をさせていただきました。三日間という短い時間でしたが、今回の経験を将来に役立てていきたいと思いません。

株式会社剛谷建築積算事務所の方々お忙しい中、私のために貴重な時間を割いていただき本当にありがとうございます。

名古屋市立工芸高等学校

建築システム科 2年 小澤 武士

積算という仕事をするのは初めてだったのでいろいろなことが知ることができました。

まず1日目では、積算とはどういうものなのかを知るために本を読み用語などのこまかい部分を学びました。

2日目でははじめに、建具などの値段を求めするために必要な計算書というものを手書きで書きました。手書きだと計算ミスや書き間違いなどをしないように注意をしてもどうしても間違いがあり時間も結構かかってしまいました。けれど、同じ計算をパソコンでやってみると計算ミスもすることなく時間もかからずに正確にできました。一つでもミスをしていたらまたはじめからやり直しなので、計算ミスがなくなることで時間が短縮されることはおもっている以上に大切なことだということがよくわかりました。

現在と昔の計算方法を比べることで便利さや早さ、正確さの違いがよくわかることができました。

3日目では就業体験で学んだ計算の仕方の復習と時間も余ったので自習もすることができました。

3日間という短い期間だったけれども知らなかった多くのことや実際の職場の雰囲気も学ぶことができるとてもいい体験でした。



建築コスト管理士の皆様へ・CPD単位取得について

まず 制度への参加、各年度で確実に修得しよう

資格制度委員会

建築コスト管理士の皆様、CPD制度は2006年より運用されており、最初の登録建築コスト管理士は、去る3月に更新期限をむかえ、新たに5年有効の登録証が発行されました。

次に、2012年3月で2期目の資格登録の期限がまいります、順次登録より5年のルーチンで期限が来る事となりますが、各年度でCPD単位の確実な修得を進めます。

そこで、CPD制度参加方法・単位取得方法を列挙します、自分に合った登録を順次して下さい。

●CPD制度未参加の方

まず、積算協会会員証か建築コスト管理士資格証を用意して下さい。

次に、インターネットで、積算協会を調べ、社団法人日本積算協会のホームページに入って、2・人材育成事業をクリック、CPDの推進をクリック、新規登録者の扉をクリック、そこで、画面の説明を読んで、案内に従って下さい。

建築コスト管理士番号は、数字の0を入力続けて登録番号を5桁入力、次に、西暦の生年月日を8桁で入力して下さい。

すでに登録してある各種個人情報が表示されますから、確認し、eメールアドレス・建築士を修得していれば、登録番号・パスワードを記入して下さい。パスワードは覚えやすい・忘れないものにして下さい。

記入に間違いのないことを確認し「次へ」のボタンをクリックして下さい。事務局に送信され、事務局で「審査」・「確認」を行った後、「申請したメールアドレス」にユーザーIDとパスワードが送られてきます。これで参加登録申請は完了です。

●平成24年に更新の方

注意点を記入しておきます、詳しい記入方法は、支部報54号(2011年2月発行)をご覧ください。

A. 単位は、5年間250単位の取得が必要です。

自：2007年4月1日 至：2012年3月31日

B. 研修年月日は、下記の年度ごとの登録となります。

2007年4月1日—2008年3月31日

2008年4月1日—2009年3月31日

2009年4月1日—2010年3月31日

2010年4月1日—2011年3月31日

2011年4月1日—登録日

C. 登録し易い内容は下記のとおりです。

①実務実績の登録

1年で20単位、5年で100単位

②自己申請

a. 協会誌「建築と積算」の購読

1年で12単位、5年で60単位

b. その他団体等の会誌・機関紙の購読

年間上限12時間で、6単位、5年間30単位

c. 専門図書の購読

年間上限20時間で、20単位、5年間100単位

③現場見学会への参加

参加1回ごとに申請し、実質見学時間で登録すると上限はありません。

●パソコンが苦手な方

また、ホームページからの登録・申請がうまくいかない方は、支部宛てに気楽に電話・FAX等で相談下さい。

支部にてアドバイス・代行入力もあります

今すぐ、登録と単位申請を!

岐阜部会だより

(株)市川工務店 建設管理部
馬木 隆生

平成23年4月20日(水)の午後6時30分より、JR穂積駅のすぐ北にある「市橋屋」におきまして、岐阜部会の平成23年度定時総会を、来賓として藤井副支部長をお迎えして開催いたしました。

議案の審議内容として、

- ・第1号議案:平成22年度 事業報告承認の件
 - ・第2号議案:平成22年度 会計報告
及び会計監査承認の件
 - ・第3号議案:平成23年度 事業計画案承認の件
 - ・第4号議案:平成23年度 予算案承認の件
 - ・第5号議案:平成23年度 役員改選承認の件
- の計5議案が審議され、原案通り承認されました。

なお、承認された平成23年度の事業計画は、下記の通りとなります。

平成23年 6月 15日(水)

建築屋さんのための設備入門講座

岐阜県民ふれあい会館にて、終了済み

8月(日程調整中) 研修旅行(一泊二日)

10月 19日(水) 支部主催の講習会

12月 9日(水) 忘年会

平成24年 2月 15日(水)

反省会及び平成24年度事業計画案策定

また例年通り「積算教室」を、岐阜県民ふれあい会館402号室にて、下記の予定で行います。

平成23年 8月 3日(水) RC造 躯体

8月 10日(水) RC造 仕上げ

8月 17日(水) 木造住宅・鉄骨

<いずれも時間は10:00~17:00>

最後になりますが、今年度も以上のように盛りだくさんの行事を企画しておりますので、部会員の皆様方には多数のご参加をお願いいたします。

追伸:総会終了後は恒例の親睦会が行われ、綺麗どころも加わって、互いの親交を深めつつ、明日へ向けての英気を養って、お開きとあいなりました。

北陸部会だより

(有)高島建築積算事務所
高島 義昭

北陸部会が平成15年10月に第1回総会が開催されて以来、笠谷会長のもと積算に対する社会の認知度を高める為に教育・普及活動、会員の拡充、会員相互の親睦と情報交換の場として魅力ある会を発信してまいりました。

今年5月28日(土)平成23年度北陸部会総会が金沢市近江町交流プラザ4階にて開催されました。

当日東海北陸支部の道家事務局長の出席を頂き、18名の会員が集まり22年度活動報告、23年度活動予定など審議して頂き、承認されました。

またこの度の総会において、笠谷会長が退任され部会役員の補選を行いました。

新部会長 高島義昭(有) 高島建築積算事務所

副部会長 窪田和則(有) ヴェク積算室

副部会長 堀田富士夫(株) 押田建築設計事務所

副部会長 川崎外志男(有) 川崎建築積算

事務局 宮西 繁 明峰積算事務所

笠谷会長の間、金融危機、政権交代、東北大震災と建設業を取り巻く環境が大変厳しいなか北陸部会の地道な活動により設立時50名の会員が福井19名、石川39名、富山19名の77名となりました。今後も会員増強にまた北陸地区の積算普及に向けて役員一同、会員一同、全員一丸となり部会を盛り上げていきたいと思っております。支部の皆様のご協力をよろしく願いいたします。



初級積算講習会

平成23年度建設技術研修

講師 西田 彰

愛知県は、県及び市や町の建設部の技術職員を対象とした研修会を開催しています。当協会は、毎年、建築積算の時間をいただいております。

今までは「建築共通基礎講座」でしたが、昨年から上級者を対象とする「公共施設整備実務講座」となりました。7月22日(金)愛知県自治研修所601教室で、15:10から16:40までの90分間の講義をしました。今年は、37名でした。

昨年から、全体の講義内容が変わりました。特に変わったのは設備です。ここしばらく前までは「設備工事の監理」というタイトルで1時間の枠で公共建築課の方が講義をされていましたが、昨年からは「設備と省エネⅠ」「設備と省エネⅡ」とのタイトルで、各々1時間ずつの枠となりました。講師は、東邦ガスと中部電力の方々です。昨年は何とも思わなかったのですが、今年は原発問題が勃発し節電と言われる中、極めてタイムリーな講義だったと思います。「ガス」と「電気」・・・私も聞いてみたかった講義です。

省エネに関連して・・・「愛知県庁の今夏の省エネ・節電アクションプラン」により、お昼休みが1時間ずれて13:00～14:00になりました。ですから講義時間も微妙に変更になりました。いろいろと努力をされているようです。

前回の講義では「積算のチェック手法」についてのお話をいたしました。経験1年未満の方々からは「活用したい・有意義だった」との感想が多数寄せられました。しかし、一部のベテランの方からは「基本的なことばかり」とのお声もありました。極めて頭の痛い問題です。県のご担当の方とも相談の上、ターゲットを経験の浅い皆さんに絞り、今回も「積算のチェック手法」を続行する事にいたしました。講義前のお話は「地震・原発と建築業界の現状」でした。

『支部報』原稿募集のお願い

広報委員会

会員の皆様ますますのご繁栄のこととお喜び申し上げます。平素は支部報「東海北陸」を御愛読いただきまして厚くお礼申し上げます。

当支部では、支部報の発行を年2回行っておりますが毎回役員及び委員からの記事で、新たなコーナーを設けたいと思っています。つきましては、会員の皆様の原稿を募集して当協会の支部報ならびにHPに掲載したいと思います。

尚、出稿していただいた内容は広報委員会により、掲載有無は判断させていただきますので誠に恐縮ではございますが、何とぞ事情を御賢察くださいますようお願い申し上げます。

記

- 1 発行部数 500部
- 2 配布先
 - a 静岡・愛知・岐阜・三重・福井
石川・富山に在住する会員
 - b 北海道・東北・関東・近畿・中国・四国・九州にある当協会各支部
 - c 東海・北陸管内の官公庁（整備局・県庁・市役所等）
 - d 東海・北陸管内の建築関係諸団体（建設協会・建築士会・建築士事務所協会）
- 3 掲載号数 年2回（出稿時期による）
- 4 掲載形式 A4版（半ページ又は1ページ）
- 5 掲載内容 御希望どおり
（読者からのコーナー）
- 6 広告版下締切り 随時募集

以上

原稿は〒460-0008

名古屋市中区栄 4-3-26 昭和ビル 2階
 社団法人 日本建築積算協会
 東海北陸支部 事務局
 TEL 052-264-0661 FAX 052-264-0662
 E-mail toukaihokuriku@bsij.or.jp

平成23年版

公共建築工事積算基準

監修/国土交通省大臣官房官庁営繕部
編集・発行/(財)建築コスト管理システム研究所

公共建築工事の積算業務に携わる方々に活用され、工事費の適正な積算に資する必携の書です。

- 共通費積算基準・標準単価積算基準の改正
- 参考歩掛りの改正並びに最新通達を収録

定価8,700円(税込)

建築士業務の責任と処分

編著/(社)日本建築士会連合会 建築士業務責任検討部会

紛争事例と行政処分事例からトラブル回避を学ぶ!
建築士の総合研修(CPD)における研修科目として活用予定!
定価2,625円(税込)

新しい建築設計・ 工事監理等の 業務報酬基準と算定方法

著/宿本尚吾

建築主・建築士・建築事務所の方々の理解のために
建築士制度の信頼回復と適正な業務報酬の確保
のためのツール
定価1,890円(税込)

新訂第2版

わかりやすい建築基準法

編著/建築基準法令研究会

改正建築士法(平成21年5月一部適用)、改正省
工ネ法(平成21年4月施行)、長期優良住宅法(平
成21年6月施行)、住宅瑕疵担保履行法(平成
21年10月施行)、歴史まちづくり法(平成20年
11月施行)等にも対応!
定価3,990円(税込)

四会連合協定

建築設計・監理業務委託 契約約款の解説

著/大森文彦・天野禎蔵・後藤伸一

設計・監理業務委託契約に強くなるう!
平成21年7月改正の解説書!

定価3,700円(税込)

民間(旧四会)連合協定 工事請負契約約款の解説

編著/民間(旧四会)連合協定工事請負契約約款委員会

工事請負契約にも強くなるう!
平成21年5月改正の解説書!

定価3,300円(税込)

現場監督のための 相談事例Q&A

—建設業法・安衛法・派遣法・偽装請負から
労災かクシまで—

著者/菊一 功

現場監督に関心が高い、労災かくしや偽装請負な
ど痒いところに手が届くQ&A!

発注者から施工業者、社労士まで読める必読書!

定価1,890円(税込)

建築工事安全施工技術 指針・同解説

監修/国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課
編集・発行/(社)公共建築協会

平成19年9月の改正を織り込んで全訂した最新
版!施工中の安全確保の必携書!

定価4,400円(税込)



株式会社 大成出版社

<http://www.taisei-shuppan.co.jp/>

TEL:03-3321-4131 FAX:03-3325-1888
〒156-0042 東京都世田谷区羽根木1-7-11



本のイメージで、さらに見やすく
お客様のご希望にお応えします!!

Web建設物価 Ver.4

<http://www.web-ken.jp/>


Web犬が
4才になりました! ワン!

ワン!




 「お気に入り」に
登録すれば便利!


必要な資材だけを
自由自在に登録できます!

 電子書籍版も
あるので安心!

月刊「建設物価」を
そのままパソコンで閲覧できます!

 充実した資材の
写真・解説!

写真・解説を見て
資材を適切に選択できます!

 充実の
バックナンバー!

2002年4月号からのバックナンバーを収録!
お手元のパソコンですぐに確認でき
保管スペースも不要です!

 地図情報を活用した
業務効率化を実現!

登録した目的地の検索や運搬距離の
測定に効果を発揮します。

標準版 50,400^{※1}円 年間(税込)

簡易版 37,200^{※2}円 年間(税込)

単月版 5,250^{※2}円 月間(税込)

※1 標準版は1つのUSBトークンで最大3人の方が同時にログインすることができます。(利用開始月のみ月刊「建設物価」1冊付)

※2 簡易版は1つのUSBトークンで1人の方がログインすることができます。(利用開始月のみ月刊「建設物価」1冊付)

・・・財団法人 建設物価調査会から新サービスのご案内・・・

商品名称	年間価格	仕様・内容
デジタル土木コスト情報	12,000円	<input checked="" type="checkbox"/> e-book形式 <input checked="" type="checkbox"/> USBトークンにて認証
デジタル建築コスト情報	15,800円	<input checked="" type="checkbox"/> 価格情報量は会誌と同じ <input checked="" type="checkbox"/> 過去5カ年分の閲覧
		<input checked="" type="checkbox"/> 3ユーザーまで利用可

開発元

私たちは建設資材や工事費等の価格調査を通じて社会資本の整備に貢献しています

 財団法人 建設物価調査会 情報システム部
〒103-0011 東京都中央区日本橋大伝馬町11番8号 (フジスタービル日本橋)
Tel.03-3663-5170 Fax.03-3663-5171

お問い合わせ・お申し込み先

販売業務代行

 株式会社 建設物価サービス
〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町10番11号 (日本橋府川ビル)
Tel.03-3663-8761 Fax.03-3663-1397

進化し続ける 建築積算・見積システム

FKS RC [RC数量積算システム]

- ◎ 部材断面の入力をして、伏図配置すると、コンクリート・型枠・鉄筋及び土工事数量を自動算出
- ◎ 計算基準は「建築数量積算基準」、「公共建築工事標準仕様書」（平成22年版新基準に対応）に準拠し、自社の基準登録も可能
- ◎ 伏図データはD×Fへ変換、施工図や根切計画図として二次利用が可能



FKS RC伏図入力画面

FKS FN [仕上数量積算システム]

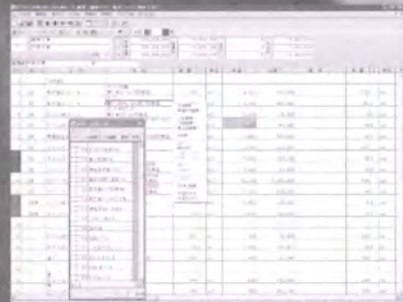
- ◎ 図面を画面に表示してマウスでなぞるだけで、素早く、簡単に長さ・面積を計測（オプション）
- ◎ 一度の拾いデータから、科目別、タイプ別、場所別、部屋別など最大22種類の集計が可能
- ◎ 設計変更前後の数量差分の自動印刷機能で、“拾う”積算から“提案”する積算へ



FKS FN-CL デジタイジング入力画面

KYOEI COMPASS [見積書作成システム]

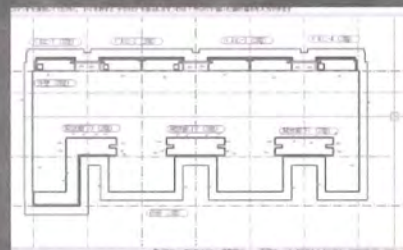
- ◎ 提出用の見積書作成から、社内管理、下見積管理（見積比較）、実行予算までデータ連動
- ◎ 単価マスター自動セット機能で値入作業の省力化を実現
- ◎ 提出、原価を睨んだ金額、数量、総額固定のシミュレーション機能を装備
Excelとの双方向連動機能で社内・社外を問わずデータ連携が可能



KYOEI COMPASS入力画面

RSS [リニューアル用積算システム]

- ◎ 図面を画面に表示してマウスでなぞるだけで、塗装・防水等の面積、シーリング長さを簡単計測
- ◎ 計算根拠を図面上に表記できる為、見積資料としてそのまま利用可能
- ◎ 外壁線を作成すればオフセット量（外壁線の出幅）を指定するだけで、足場寸法を自動算出



RSSデジタイジング入力画面

積算といえば協栄産業におまかせください!
<http://www.kyoei.co.jp/fks>

インターネットで

積算 FKS

検索

「積算・FKS」と検索してください

クリック!



エレクトロニクス分野を通じて

多岐多岐のある社会の実現に貢献します。

協栄産業株式会社 ソリューション営業部

Email fks@kyoei.co.jp URL <http://www.kyoei.co.jp/fks>

【東京】〒143-6565 東京都大田区平和島6-1-1 TRCアネックスビル

TEL 03-3767-2312 FAX 03-3767-2318

【大阪】〒553-0003 大阪府大阪市福島区福島3-14-24

TEL 06-6451-9781 FAX 06-6451-9810

協栄産業株式会社 会社概要

【資本金】31億 6,181万円 (2010年3月31日現在)

【総従業員数】1,302名 (協栄産業グループ会計 / 2010年3月31日現在)

【株式上場】東京証券取引所 市場第1部「商業」

社団法人 日本建築積算協会賛助会員

一般社団法人 日本建築積算事務所協会賛助会員

社団法人 日本建築士事務所協会連合会賛助会員

財団法人 建設業振興基金 情報化評議会会員 (CI-NET会員)

訃 報

前事務局長、河邊信行様が4月にご逝去されました。平成12年から17年までの5年間名物事務局長としてご活躍されました。76歳でした。

清水建設見積部の市橋延也様が7月にご逝去されました。東海北陸支部の支部役員として、また、データベース委員会の副委員長として努められました。58歳でした。

謹んでご冥福をお祈りいたします。

表紙を飾る 国宝犬山城周辺の施設



からくり展示館 (文化資料館別館)



甲冑工房 (犬山城前)

編 集 後 記

3月11日に発生した東日本大震災で被災された皆様におかれましては心よりお見舞い申し上げます。

地震発生からおよそ5ヶ月が経ち、復旧に全力を挙げて取り組んでいる中、福島第一原発の放射能汚染がいろいろな形で全国に拡がりを見せ、深刻な状況が続いています。

何とか一刻も早い復旧・復興を祈るばかりです。

広報委員	堀田 淳二	松本 利治
	西田 彰	桑名 利男
	長山 充裕	松岡 征紀
	松平 久芳	

支部報 『東海北陸』 No.55

発 行 社団法人日本建築積算協会
東 海 北 陸 支 部

名古屋市中区栄町四丁目3-26
昭和ビル 2階

☎ (052) 264-0661 (代)

FAX (052) 264-0662

URL <http://bsi-th.052e.com/>

発行日 2011年8月 吉日

積算業務の効率化に貢献する

TDS Application Series

出荷本数7000本の実績!明細書作成の超決定版!

Exa
TDS [見積]

The screenshot displays several overlapping windows of the TDS [見積] software. The main window shows a detailed table with columns for item name, quantity, unit, and price. Other windows show summary tables and calculation details.

超簡単仕上拾い

TDS [仕上]

The screenshot shows the TDS [仕上] software interface, which lists various construction items with their specifications, quantities, and prices. The table includes columns for item name, quantity, unit, and price, along with detailed descriptions of the work items.

業界初!耐震改修専用の積算システム!

TDS [耐震改修]

The screenshot displays the TDS [耐震改修] software interface, which is specialized for calculating the costs of seismic retrofits. It features a large table with columns for item name, quantity, unit, and price, along with detailed descriptions of the retrofit work.

どんな建物にも対応

NCS / HEALIOS

The screenshot shows the NCS / HEALIOS software interface, which is used for creating 3D architectural models of buildings. The main window displays a 3D model of a building structure, with various layers and components visible. The interface includes a toolbar and a list of objects.

※NCS/HEALIOSは株式会社日積サーベイ社の商品です。



TOMOデータサービス株式会社

<http://www.tomodata.co.jp> E-mail info@tomodata.co.jp

大阪本社/ 〒531-0041 大阪市北区天神橋7丁目5-23 渋谷ビル TEL(06) 6351-8452 FAX(06) 6351-8925
東京事務所/ 〒110-0015 東京都台東区東上野3丁目14-7 龍田ビル TEL(03) 5816-7080 FAX(03) 5816-7081